

【放射科】

放射線科は、画像診断装置を適正に操作し、患者様により良い画像を提供できるように心がけています。

また、放射線を利用した検査となりますので、被ばくの観点から撮影条件の見直しなどを、定期的に行い、良質な画像と適正な撮影条件を求めて日々検査に従事しています。

スタッフは診療放射線技師が8名(うち女性技師2名)であり、老若男女及び子供に対して安心して検査を受けてもらえるように、患者様に寄り添った接遇をモットーに検査業務をしています。

<放射線科で行える検査(機器)>

○一般撮影(レントゲン)

骨折の発見のために様々な骨の撮影。胸部や腹部など撮影します。

○CT(コンピュータ断層診断装置 Computed Tomography)

全身の臓器や骨など様々な部位に対し、放射線を使いながら画像化します。最新の AI 機能も備わっているため、高画質かつ被ばく低減を実現できています。

○MRI(磁気共鳴画像診断装置 Magnetic Resonance Imaging)

磁場の力を用いて画像化する検査になります。急性期の脳梗塞や新しい骨折などの発見に特化しています。金属が体内に埋め込まれている方は撮像できない場合がありますので、スタッフにお申し出ください。

○エコー(超音波装置)

放射線を使わず、超音波を利用して、腹部・心臓・血管・臓器の硬さなどを検査します。

○透視

胃透視や内視鏡治療の際に、放射線を用いて観察します。

診療放射線技師が条件や撮影を行い画像提供します。また、手術室専用の装置にも従事し、手術(整形外科・外科・脳外科など)で必要な画像の提供をしています。



CALNEO AQRO

○骨密度検査

放射線を用いて、腰椎・股関節の骨の密度(骨密度)の検査を行います。骨粗鬆症で最も心配される部位の骨密度を測定することで、皆様の骨折リスク低減の参考になります。



X線骨密度測定装置「ALPHYS LF」

<認定資格一覧～スペシャリスト～>

放射線科では、患者様に安心して検査を行ってもらうために、スタッフが様々な認定資格を取得して、装置や放射線の知識を日々取得、精進しています。ご不明な点はスタッフにご相談ください。

資格名	有資格者人数
X線 CT 認定技師	2名
Ai 認定診療放射線技師	3名
肺がん CT 検診認定技師	2名
画像等手術支援認定診療放射線技師	2名
超音波検査士(腹部)	1名
放射線管理士	3名
放射線機器管理士	2名
医療画像情報精度管理士	1名
医療情報技師	1名
第一種放射線取扱主任者	1名

(令和5年9月時点、複数資格取得者あり)